

みんなのサロン

御坊幼稚園の巻

おとうさん、あのね…



たにわき はると くん(6さい)

おとうさん いつもあそんでくれて ありがとう★
またいっぱい かくれんぼをして あそぼうね。

おかあさん、あのね…



やまさき ことか ちゃん(6さい)

ママ いつも せんたくをしてくれて ありがとう♥
また おもちゃで あそぼうね。

お母さんみたいな看護師になりたいです。



わたしの夢は、看護師です。わたしは小さい時から、看護師のお母さんをずっと見ていて、お母さんのことがすごいと思っていつか自分もお母さんみたいな看護師になりたいと思いました。お母さんは朝早く仕事に行ったり、夜おそくに帰ってきたり、そんなお母さんをそんけいしています。これから、勉強もいっぱいしていきたいです。

ぼくの夢 わたしの夢



つむら ちさき
津村 千歳さん
御坊小学校6年

マイケルの花まるエッセイ

アメリカのハロウィーン

子どもの頃、ハロウィーンは私の好きな祝日の一つでした。

ハロウィーンの前の週になると、両親は、カボチャを買いに、地域のパンブキン・パッチへ連れて行ってくれました。私たちは、数個のカボチャを買ってきて、それを素敵なジャック・オー・ランタンに手作りで仕上げるのに1日を費やしました。着るコスチュームも決めました。

テレビでは、番組は全てハロウィーンがテーマのものでした。その週の間は、たくさんハロウィーンの映画も放送していました。私が大好きだったのは、『スノーピーとかぼちゃ大王』です。それは、スノーピーとチャーリー・ブラウンのハロウィーンについてのお話です。学校では、私たちは、教室をたくさんカボチャ、骸骨、幽霊といったもので飾り付けました。

ハロウィーンの日には、私は、夕食後にコスチュームを着てトリックオアトリートに行く準備をしました。友だちと私は、たくさんキャンディを集めようと街を歩き回りました。飾り立てられた家々を見るのが楽しかったです。2時間後に、私たちは疲れて家に帰りました。ニューヨークでは、ハロウィーンに、たまに雪がふりました。とても寒かったのですが、私はたくさんキャンディを得てとても満足でした。家で、どれくらいキャンディを集めたかを数えました。大抵、クリスマスまで十分に持つ量でした！



パンブキン・パッチ：ハロウィーン用のかぼちゃを売っている場所

トリックオアトリート：ハロウィーンの際に、子どもたちが近所の家を訪問してお菓子をもらう風習